



太子橋フィールドワーク

平成19年10月4日

【ルート及び内容企画】小井戸



江野川

- かつては、橋が20橋が架かっていた。

大阪工業大学と阪神高速

- 大阪万博時に、そのアクセス路として江野川に高速が計画された。大阪工業大学には騒音に関する先生がおり、授業の妨げになると反対。建設の要望として「4階より上に道路を通すこと」、「遮音壁をつけること」、などを提示。
- 住民は、高架下に遊歩道を建設することを要望。統一した街路灯、緑化、ベンチ等を配置した約3.5kmの道路「江野川筋自転車歩行者専用道路」が平成10年に完成した。
- 高速道路は、大阪万博には間に合わなかった。

■江野川筋歩行者専用道路と阪神高速(奥は大阪工業大学)



太子橋小学校

- 現、小学校校門の北西に位置する電柱は、国と郡の境界であった。
- 面積の約95%以上が守口市緑町に位置する。
- 以前の校門は、北西の角にあった(現在校門は緑町)。
- 校章は橋で、これは聖徳太子が橋寺で産まれたことに由来。
- 昭和24年、古市小学校の分校として誕生。



■太子橋小学校と校章

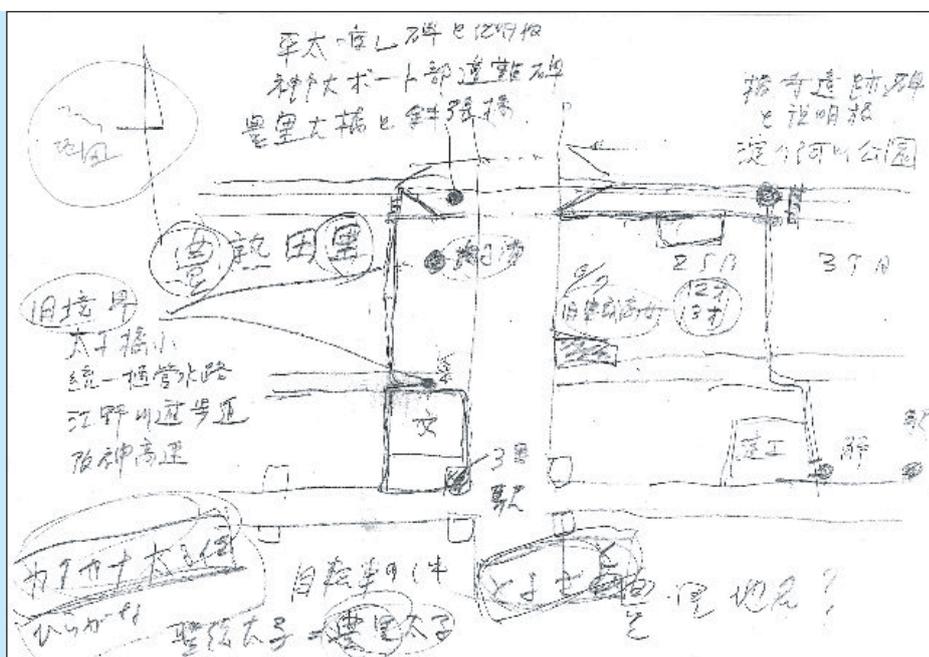
太子橋の地名について

- 樋管統一水路には、緑橋、太子橋、桜橋、柳橋という橋が架かっていた。
- 橋の太子橋は、昭和8年に完成。当時、この架橋によって南北の通行量が増加。それまで今市から守口までの間には停留所はなかったが、通行量の増加により太子橋停留所が設置された。
- 地名は小学校の名に由来(昭和46年に誕生)。その小学校の名は、樋管統一水路に架かっていた「太子橋」から。

樋管統一水路 (ひかんとういつすいろ)

- 延長約12.3キロ。城北公園付近で江野川に接続し、東は枚方大橋まで通っていた。
 - 名称の由来は、8つの樋管(堤防の中に作られる水路)を枚方で1つに統一したため。その対象面積は約500ヘクタール。堤防の安全性を高める機能を持つ。
- <参考>樋: 堤などから排水するための門

■小井戸氏直筆のフィールドワークルート案内図



■フィールドワークでの記念撮影

